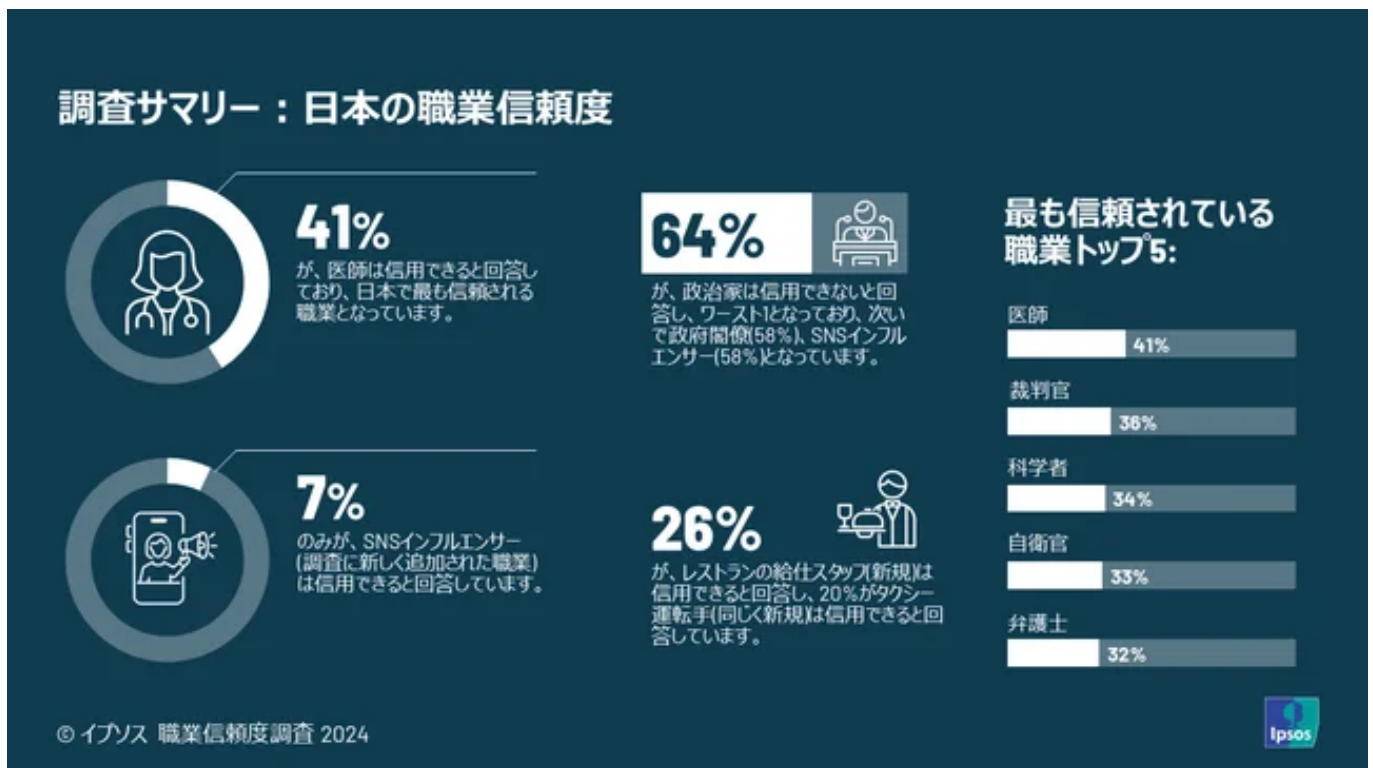


32カ国23,530人に聞いた「職業ごとの信頼度」、最も信頼されていないのはインフルエンサーと政治家

「イプソス職業信頼度調査2024」を実施



イプソス職業信頼度調査

世界最大規模の世論調査会社イプソス株式会社（日本オフィス所在地：東京都港区、代表取締役：内田俊一）は、さまざまな職業に対する人々の信頼を調査した「イプソス職業信頼度調査2024」を発表しました。詳細のレポートは[こちら](#)からご確認ください。

調査サマリー：日本の職業信頼度

最も信頼されている職業は、医師、裁判官、科学者

日本では、医師（41%）、裁判官（36%）、科学者(34%)が信頼できる職業トップ3です。一般的に、最前線で働く公共サービスの従事者（軍隊や警察の職員を含む）は信頼される傾向にあります。

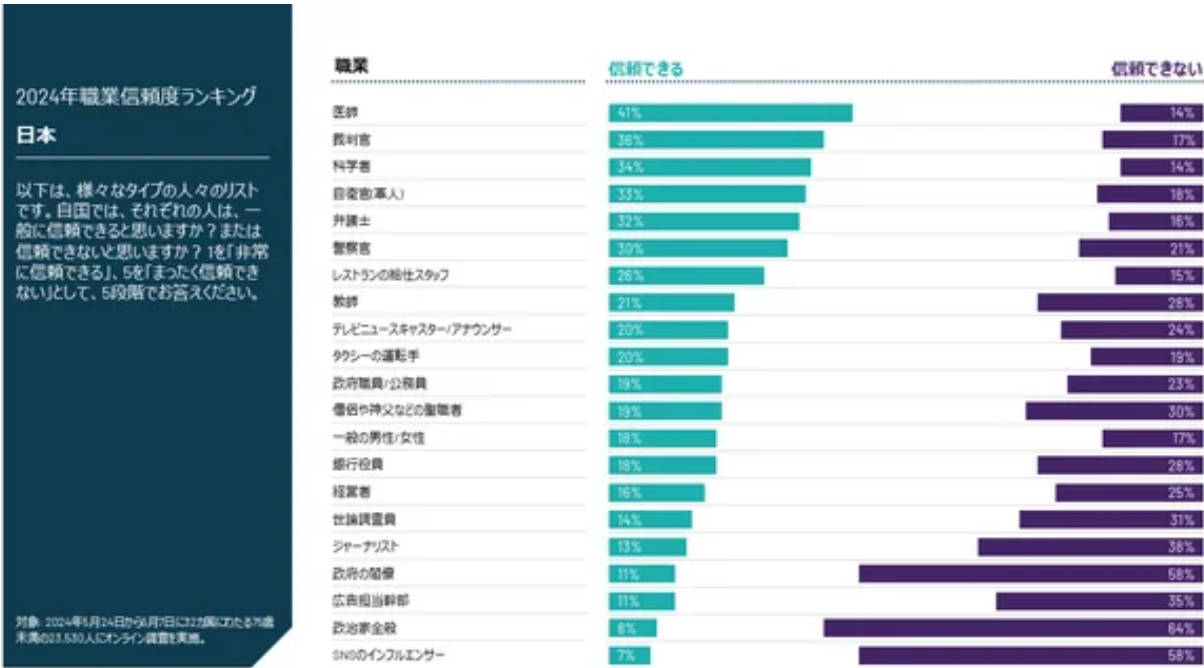
日本では裁判官の信頼度が特に高く、裁判官が32カ国の中でトップ3に含まれているのは日本とシンガポールのみです。

最も信頼されていない職業は、政治家、次いで政府官僚、SNSインフルエンサー

日本で政治家を信頼できると回答したのはわずか8%で、国別でみるとアルゼンチンに次いで2番目に低い結果となりました。グローバルでも政治家への信頼度は低く、政府閣僚も下位5位以内に入っています。

新たに追加された職業：SNSインフルエンサー、ウェイター、タクシードライバー

日本でSNSインフルエンサーは信頼できるとは見なされていませんが、ウェイター（レストランの給仕スタッフ）やタクシードライバーは信頼できると見られています。SNSのインフルエンサーは信頼できないと回答したのは、58%で政治家に次いで最も低い結果となりました。今年追加された他の新しい職業では、ウェイターは5番目に信頼されている職業(「信頼できる」の回答が26%)ですが、タクシー運転手については信頼できると感じている人が20%、信頼できないと感じている人が19%と意見が分かれています。



© イプソス 職業信頼度調査 2024



2024年職業信頼度ランキング グローバル

以下は、様々なタイプの人々のリストです。自国では、それぞれの人は、一般に信頼できると思いますか？または信頼できないと思いますか？1を「非常に信頼できる」、5を「まったく信頼できない」として、5段階でお答えください。

対象：2024年5月24日から6月7日に32カ国にわたる7歳未満の23,530人にオンライン調査を実施。



© イプソス 職業信頼度調査 2024



イプソス職業信頼度調査 ランキンググローバル

詳細を見る

イプソス職業信頼度調査 概要

期間：2024年5月24日から6月7日

調査対象者：32カ国、23,530人（日本人1,000人）

オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、ニュージーランド、スペイン、米国からそれぞれ約1,000人、アルゼンチン、ベルギー、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、アイルランド、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、フィリピン、ポーランド、ルーマニア、シンガポール、南アフリカ、韓国、スウェーデン、タイ、トルコからそれぞれ約500人がオンラインで調査を受けました。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、そのうち約1,800人が対面で調査を受け、400人がオンラインで調査を受けました。

イプソス株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/122181